

令和6年度 学校評価(自己評価)結果

実施: 令和7年3月 教職員アンケート(昼間部のみ)

評価基準 (4 十分達している 3 概ね達成している 2 改善の余地あり 1 検討が必要)

事 項	番号	評 価 項 目	R4年度	R5年度	R6年度
教育理念・目的・人材育成像	1	理念・目的・育成人材像など学科の特性が明確になっているか	3.8	3.6	3.5
	取組等	各学科・専攻において、学生の特性や業界のニーズを踏まえながら、「目指す学生像（ディプロマポリシー）」「教育課程編成方針（カリキュラムポリシー）」などを毎年見直しています。 今後も、業界の動向や企業側のニーズの変化を的確にとらえながら、時代の変化に対応できるよう学科や専攻間を横断する取組や連携を進めていきます。			
	2	各学科の教育目標・育成人材像は業界のニーズに向けて方向づけられているか	3.7	3.6	3.6
	取組等	文部科学大臣認定の「職業実践専門課程」校として、関連する多数の企業と連携し、各業界で活躍するプロを講師に招いて、即戦力となる人材の育成を図っています。また、年2回「教育課程編成委員会」を開催し、7名の企業関係の方々から業界の動向等について意見を聴取しています。 今後も、社会や業界の変化を把握しながら、ディプロマポリシー、カリキュラムポリシーなどの見直しを行っていきます。			
学校運営	3	目標等に沿った学科運営方針が明確になっているか	3.8	3.5	3.6
	取組等	各学科・専攻とも、毎年、学園・学校の目標、学生の実態や変化、社会や業界のニーズ等を踏まえ、ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー等の学科運営方針を見直しています。また、これらについては講師会議や教育課程編成委員会等においても共有しています。 今後も、講師との連携及び情報共有を密にして、運営方針の具現化に努めていきます。			
	4	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	3.8	3.6	3.3
	取組等	学校案内（パンフレット）やホームページ、SNSなどを通して適宜情報公開を行っています。高校生に興味を持ってもらえるよう学科・専攻毎にInstagramを通じて、教育活動の様子を発信しています。 今後はさらにスピード感を持った情報発信に努めます。また、プレスリリースの頻度を高めるなど、本校の教育活動のPRの範囲を広げていきます。			
教育活動	5	教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が示されているか	3.8	3.7	3.6
	取組等	各専攻の専門性を重視し、教育課程編成委員会での助言等を参考に、教育課程の改善や年間行事予定等の作成を行っています。また、コンペティションへの参加や校外学習、グループ制作展等を通じて、専門的な知識と実技のバランスに考慮した教育活動を進めています。			
	6	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3.5	3.7	3.5
	取組等	学則をもとに教務規程を定め、成績評価や単位認定の基準に従って進級並びに卒業認定を行っています。これらの基準等については、入学後のオリエンテーションにおいて学生に説明しております。 発達障害やメンタルに不安を持つ学生が増えていることから、学生の実態や時代の変化に即したものととなるよう不断に見直しを図っていきます。			

教育活動	7	資格取得の指導体制はカリキュラムの中で体系的に位置づけられているか	3.6	3.4	3.5
	取組等	社会人基礎力の向上を図るため、ビジネス能力検定取得に向け、学科や専攻を問わず担任授業の中で指導するとともに、受検料の補助を行って受検を促しています。また、各専攻の専門分野に対応した各種検定についても、在学中受検が可能となるよう課外指導を含め指導や支援を行っています。			
	8	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる指導体制を確保しているか	3.7	3.5	3.3
	取組等	各学科・専攻においては、業界との結びつきを深め、積み重ねてきたキャリアを教育の場で活かすことができる人を講師として採用しています。専任教員については、校内研修や北海道私立専修学校各種学校連合会の「『職業実践専門課程』に係る研修会」などの外部研修会への参加などにより資質向上を図っています。 今後は、ノウハウを組織的に構築できるようマニュアル作りを進めていきます。			
学修成果	9	就職率の向上が図られているか	3.8	3.4	3.2
	取組等	就職課の専任職員が、入学直後からガイダンスや面談を積極的に行うなど、計画的に就職指導を行っています。また、校内での企業説明会を積極的に行い、企業が求める人材や社会人として心構えなどを人事担当者から直接話していただく機会を設けることで、学生の就職意識の高揚を図っています。 専攻によっては、一般企業への就職を希望しない学生が一定数います。また、不登校経験やコミュニケーション能力に難がある学生も少なくありません。DXの進展により紙媒体の需要が減少し、業界そのものに大きな変化が見られます。			
	10	退学率の低減が図られているか	2.9	3.0	2.9
	取組等	不登校歴や発達障害、メンタルに問題を抱える入学者の増加もあり一定数の退学者が出ていますが、担任による懇切丁寧な指導により、退学者数の増加に歯止めをかけています。 今後も、外部機関との連携を密にし、担任を中心に学生との適宜適切な面談や家庭との連携により丁寧な指導に努めていきます。			
学生支援	11	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3.7	3.4	3.4
	取組等	1年生の早期より就職ガイダンスや就職希望調査を行うとともに、インターンシップ、就職活動セミナーや企業説明会などへの積極的な参加を促しています。また、就職課と担任との連携を密にし、個人面談・三者面談などを通じて、求人企業と学生のマッチング等、学生一人一人の希望と特性を踏まえた指導を丁寧に行っています。 今後も、フリーランスなど多様化する働き方に対応する指導の在り方について検討を進めていきます。			
	12	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	3.6	3.6	3.3
	取組等	本校独自の奨学金・支援制度(給付型)の充実により学生への支援を行っています。また、公的な奨学金や給付金などについても、校内において説明会を実施し、返済等将来を見据えた適切な利用について丁寧に指導しています。 今後も、総務事務を窓口として、支援体制の周知に努めていきます。			
教育環境	13	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか	3.5	3.4	3.4
	取組等	学生一人一台端末を整備し、定期的にPC等の機材の更新を行っています。学科・専攻の特性に合わせ、最新の技術を身に付けることができるよう最大限の費用をかけてICT環境の充実を図っています。また、インターンシップについては、全員保険に加入させ、積極的に参加させています。海外研修については、一昨年度は台湾、昨年度はシンガポールで実施しました。 海外研修については、今後も学生たちの負担や教育効果等に配慮しながら国や地域を選定を行っています。			
	14	防災に対する体制は整備されているか	3.6	3.3	3.3
	取組等	各室に管理責任者を置き、火気管理をはじめとして防火・防災等の分担責任を定めています。また、消防設備点検は業者により6ヶ月毎に実施するなど法にもとづいた各種点検を行っています。なお、校舎は耐震基準を満たしております。 今後も、校舎内外の整理（不要なものの処分を含む）を行っています。			

学生 の 受 入 募 集	15	学生募集活動は、適正に行なわれているか	3.4	3.4	3.2
	取組等	合同学校説明会や高校への個別訪問を通じて本校の情報や魅力を発信しています。広報に利用するデータについても正確に伝えています。出願、選考等に日程についても北専各の指針に従った適切なものになっています。 担当する広報部と教務部（教員）との情報共有や連携の在り方に工夫が必要です。			
	16	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3.3	3.3	3.1
	取組等	学生募集用のパンフレットや本校のホームページで就職率やコンペティション入賞等学生の活躍を紹介していますが、様々な実績や成果が出ているのも関わらず、それらの広報や周知が他校に比較して十分に出来ていないという意見もあります。 今後もよりタイムリーなHP掲載や学生によるSNSの発信などにより、学習内容や成果を高校生等により深く理解してもらえるよう努めます。			
財 務	17	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3.4	3.4	3.2
	取組等	無借金为学校経営が続いており、財務諸表をホームページにも公開しています。経営状況は極めて安定しています。			
	18	財務について会計監査が適正に行われているか	3.5	3.6	3.5
	取組等	会計監査は監査法人により年3回(12、4、6月)実施し、その後本学園の会計監査を実施しています。財務について、適正な判断がなされておりホームページ上に公開しています。財務上の問題はまったくありません。			
法 令 の 遵 守	19	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3.5	3.2	3.4
	取組等	個人情報保護基本方針を定めて、個人情報の保護に万全を期しています。個人情報保護法に基づき、出願者、入学者、学生はもとより、講師を含めた教職員の個人情報等に関しても、情報管理の一元化や管理体制の厳格化に努めています。 今後も、個人情報の取り扱いについては、慎重かつ丁寧に進めていきます。			
社 会 貢 献 ・ 地 域 貢 献	20	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3.5	3.4	3.5
	取組等	札幌市教委の小・中学生対象の仕事体験等進路学習への協力、子ども対象のワークショップの実施など、多くの社会貢献活動を行っています。学校祭や卒業制作展に開催に当たっては近隣の幼稚園や小学校に案内しています。また、北海道や北海道警察、札幌市などからポスターや映像の制作依頼を受け、学生が作成したポスターや映像が、道内・市内各所に掲出・放映されています。			
国 際 交 流	21	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	3.5	3.2	3.2
	取組等	イギリスの国立プリマス大学とカナダの州立キャピラノ大学と短期交換留学の連携協定を締結しております。令和6年度はキャピラノ大学から1名、プリマス大学から2名の留学生を受け入れました。本校からの派遣はありませんでした。受け入れ、派遣ともに学校から奨学金（10万円）を給付し、留学が実りあるものになるよう支援しています。 今後も、両校との連携を大切にして、積極的な受け入れや派遣を進めていきます。			